GAME NOVELS

フロントミッション4 I

FRONT MISSION 4

エルザ #1

X:02011454-014
Y:01456540-564
Z:.,454423-54010

FRONT MISSION PROJECT

秋津 透
Akitsu Toru

直良有祐 Illustration Naora Yusuke

SQUARE ENIX

ISBN4-7575-1289-9

C0293 ¥933E

定価：本体933円＋税

SQUARE ENIX

フランス軍ヴァンツァー部隊曹長、エルザ・エリアース。
彼女は突然上官から移籍を勧められ、とまどっていた。
その移籍先の名は E.C.（ヨーロッパ共同体） 陸上新戦術研究機関『デュランダル』。
そこはE.C.のみではなく U.S.N.（ニューコンチネント合衆国）、
ザーフトラ共和国などからも広く人材を募ったよく言えば先鋭的、
悪く言えば個性的（フリーク）な人間の集まりのような組織だった。

Refrection ON

GAME NOVELS

フロントミッション4 I

直良有祐 Illustration Naora Yusuke

SQUARE ENIX

GN
GAME NOVELS

FRONT MISSION 4 エルザ #1

フロントミッション4 I

秋津 透
イラスト 直良有祐

スクウェア・エニックス

FRONT MISSION 4

GAME NOVELS

フロントミッション4 I

エルザ #1

秋津 透 Akitsu Toru

Illustration 直良有祐 Naora Yusuke

FRONT MISSION 4

カバー・口絵イラスト／直良有祐

本文イラスト／木下ともたけ

カバー・表紙・帯・目次・章扉・キャラクター紹介デザイン／松木美紀

CONTENTS

R S
RANDAL

Elsa Eliane

エルザ・エリアーヌ
この物語の主人公。22歳のデュランダル新人女性隊員。以前はE.C.フランス軍ヴァンツァーパイロット。実戦経験はまだない。

Zead Elger

ジード・エルガー
豊富な経験を持つ元イギリス軍将校のデュランダル実戦部隊隊長。45歳。礼儀正しい性格の頼れる父親的存在。

ハーミーズ・スタージェス
デュランダル情報分析担当者。隊のムードメーカー的存在で、コンピュータを駆使した情報処理能力に優れる。20歳。楽天的な性格。

ラトーナ・ロディオーナ・ヴァシレフ
ザーフトラ軍出身のヴァンツァーパイロット。軍隊経験が長く、自分にも他人にも厳しい性格。28歳。

Hermes Sturges

CHARACTE

DU

ディーダー・ボッシュ

戦略立案に長ける、元ドイツ軍将校。ブラウネーベル隊長ヴァグナーとは士官学校時代の同期。あまり行動的ではない、呑気な性格。34歳。

ベック・カノーヴァ

軍隊経験のない、イタリア人の元サッカー選手。規律を守ることを嫌う自由で陽気な性格。

OTHERS

フレデリック・ランカスター

フリーのジャーナリスト。ドイツ軍基地襲撃事件を追っている。第二次ハフマン紛争従軍取材の結果「サカタインダストリィ事件」をスクープした経歴を持つ著名なジャーナリスト。

Rolf Wagner

ロルフ・ヴァグナー

ドイツ軍特殊部隊ブラウネーベル隊長。28歳。冷静沈着な指揮官向きの性格。

ニクラス・グレーザー

ドイツ軍特殊部隊ブラウネーベル司令官。叩き上げの軍人で厳格な性格。

プロローグ　ザクセンアンハルト地方・ドイツ陸軍基地

深夜、午前二時四十七分。
災厄は、何の予兆もなく唐突に始まった。

「司令補、レーダーに異常発生。探知ができません」
基地の頭脳、中央管制室。
レーダー担当オペレーターの報告に、夜間当直に当たっている基地司令補佐士官は、軽く眉（まゆ）を寄せて唸（うな）った。
「故障か？」
「かもしれませんが、メイン、サブ、同時に使用不能です。磁気嵐ではないでしょうか」
「磁気嵐？　レーダーがおかしくなるほどのか？」
何だそれは、と、司令補は本格的に顔をしかめる。
「そんなものが起きるなら、事前に警告ぐらいありそうなものだが。
まあ、いい。空軍に連絡を取って、空中哨戒機を出動させよう。基地（こっち）のレーダーが回復するまで、代用する」
「了解」

通信を開始するオペレーターの背を見やりながら、司令補は苦い顔で、故障と磁気嵐のどちらがより厄介だろうか、と、考える。故障なら、当然、修理するための予算がかかるし、もし修理が長期にわたれば、その間、空中哨戒機を出動させる費用の負担も必要になる。磁気嵐なら一過性の現象だろうから、費用は空中哨戒機出動一回分で済むが、問題は、飛行機も出せないほど磁気嵐が激しかった場合だ。もし、そんなことになったら、磁気嵐が収まるまで、この基地は事実上、稼働不能状態になってしまう。

しかし現実は、彼の予想を遥(はる)かに上回って、厄介な事態に陥っていた。

「司令補！　空軍基地に連絡が取れません！　無線も有線電話も、まったく通じません！」

オペレーターの狼狽(ろうばい)した声を耳にして、司令補は思わず席から立ちあがる。

「何だと？」

「空軍基地だけじゃない、どこへも連絡ができません！　内線は通じますが、外部との通信は完全に遮断されています！」

「馬鹿な！　軍基地の通信を遮断など、いったい誰が、そんな大それた真似を……」

する、と、叫んだ司令補の声を、凄(すさ)まじい震動を伴う轟音(ごうおん)が掻(か)き消す。

「な、何だっ？」

「何者かが、この基地を攻撃しています！　多数のミサイル、いや、ロケット弾が、うわっ！」

震動と轟音が、続けざまに中央管制室全体を激しく揺るがす。同時に通常の照明が消え、非

常灯に切り替わる。
「第一級非常警報発令！　敵を捕捉し、基地の全戦力をあげて反撃せよ！」
非常灯の頼りない光の中で、司令補は声を限りに叫ぶ。
「ヘリ部隊、戦車部隊、ヴァンツァー部隊、稼働可能な全機、緊急発進！　待機中の要員を召集し、予備機体もありったけ稼働させろ！」
「了解！」
血相を変えたオペレーターたちが、戦闘部隊に次々と指示を飛ばす。内線が生きているのは、不幸中の幸いだったな、と、司令補は小さく呟いた。
しかし、基地の各所から返ってくる報告は、そんな甘い感想を即座に吹っ飛ばすほど凄惨極まるものだった。
「ヘリ部隊から報告！　敵は、ヴァンツァー多数！　圧倒的な火力に、ヘリが離床するが早いか、次々に撃ち落とされています！」
「戦車部隊、出撃した途端に、上空からのロケット弾を浴びました！　発進した部隊は、全車稼働不能！　後続部隊は、格納庫から出られません！」
「第二ヴァンツァー格納庫内に、敵のミサイルが撃ち込まれました！　直撃を受けて、庫内のヴァンツァー及び要員は、全滅した模様です！」
「出撃したヴァンツァー部隊が、敵のヴァンツァーと拠点銃撃戦に入りましたが、上空からの

誘導ミサイルによって、大被害を受けています！　守りきれません！」

「待機要員宿舎が、敵ヴァンツァーの襲撃を受けました！　ナパーム弾で焼き尽くされ、生存者は皆無と思われます！」

「敵に制圧された区域内の基地施設各所に、大規模な火災発生！　焼き討ちです！　手のつけようがありません！」

「戦車部隊格納庫、敵ヴァンツァーに強行突入されそうだとの報を最後に、交信が途絶えました！」

「ヘリポートも、交信途絶！　突入してきたヴァンツァーが、戦闘員、整備員を問わず、無差別に掃射を行なったようです！」

「ヴァンツァー部隊から報告！　撃破された我が軍のヴァンツァーから脱出したパイロットが、脱出装置もろとも敵ヴァンツァーの攻撃を受けて、ことごとく殲滅されています！　敵は、我々を皆殺しにするつもりです！」

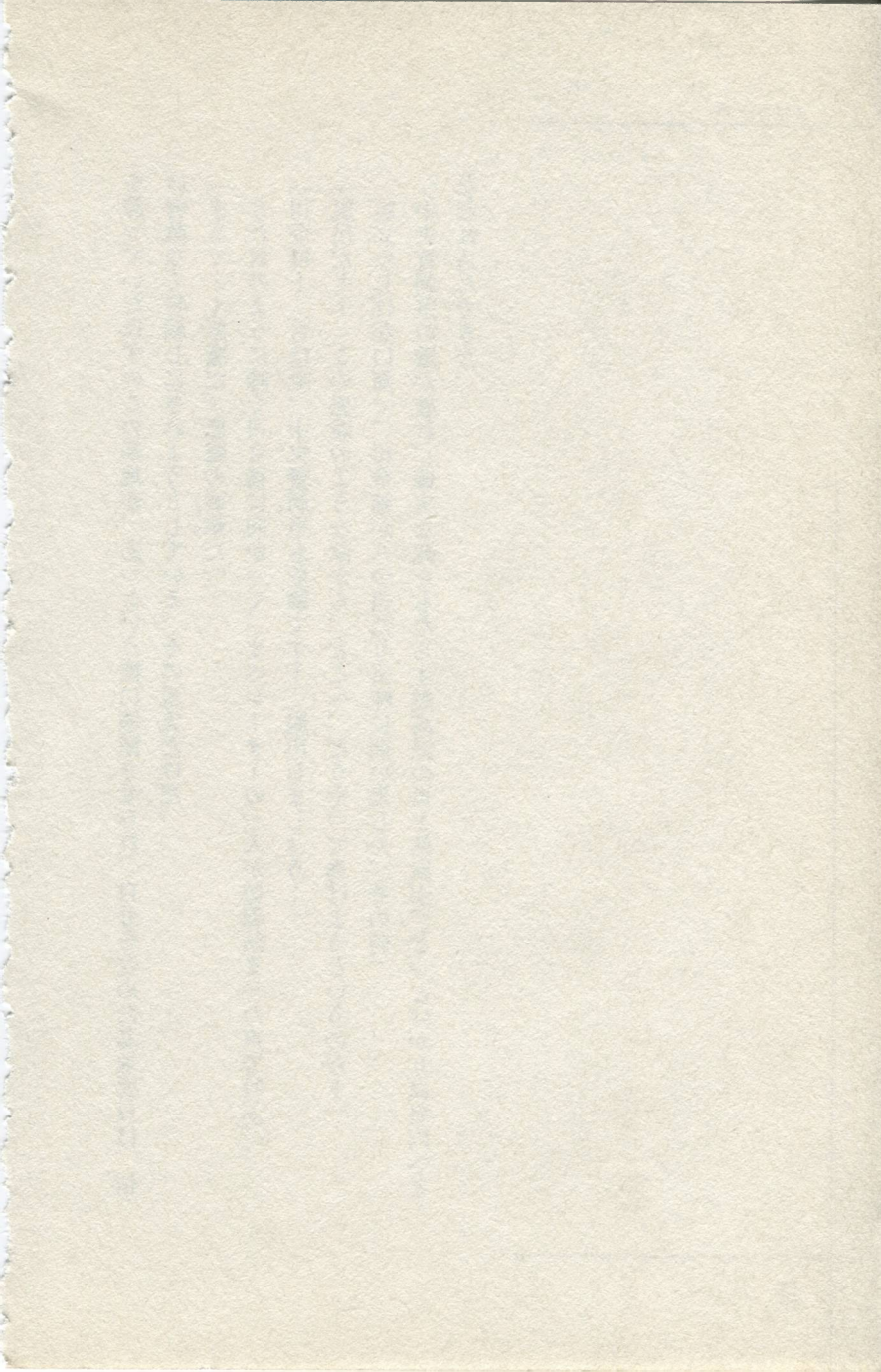
「な、何ということだ……」

またたくまに顔から血の気が失せるのを感じながら、不幸な司令補は呻いた。

いったい、誰が、なぜ、どうやって、何のために？

頭の中でぐるぐると疑問が渦巻くが、もちろん答えなど得られるはずもない。

目の前に突きつけられている答えは、ただ一つ。ドイツ軍、いや、E.C.諸国軍屈指の戦力

を誇っていたはずのこの基地が、あっという間に壊滅させられ、自分を含めた基地要員は、情け容赦なく皆殺しにされようとしている。その現実だけだ。
「まるで……悪魔だ。悪魔の襲撃(しわざ)だ」
うわ言のように呻く司令補に向かって、オペレーターの一人が切羽詰まった声で叫ぶ。
「司令補！　もはや、中央管制室(ここ)も危険です！　脱出しましょう！」
「脱出だと？　この悪魔のような敵から、どこへ、どうやって逃げようというのだ？」
腹立たしげな口調で、司令補が八つ当たり気味に問い返した、その時。
中央管制室の壁が破れ、確実な死をもたらす超高温の炎と熱風が、どっとばかりに室内へとなだれ込んできた。

MISSION 1

エルザ入隊

その組織の名が、フランスの勇士ローランの剣にちなむデュランダルではなくて、たとえばエクスカリバーとかだったら、正直、私は移籍しなかったかもしれない。フランス軍の上官から移籍を勧める話が出る以前に、私がE.C.陸上新戦術研究機関デュランダルに対して持っていたイメージは、そのぐらい薄弱な代物だった。

「デュランダルは、E.C.が設立したヴァンツァー戦術の専門研究機関だ。ここへ行けば、最新のヴァンツァー戦術が学べる」

フランス軍ヴァンツァー部隊を、事実上一人で切り回していると噂される上官は、れっきとした将官の身でありながら、下士官にすぎない私を直接呼びつけて、熱心に移籍を勧めた。

「遺憾ながら我がフランス軍は、ことヴァンツァーに関しては、あらゆる面において他国の軍に後れをとっている。部隊に配備されているヴァンツァーが旧式で数も少ないという点も、大いに嘆かわしいが、それはまだ、有事になってから予算を注ぎ込みさえすれば、何とか挽回できなくもない。

しかし、それ以上に深刻な問題なのは、ヴァンツァーを戦術運用できる士官が、私を含め、ほとんど存在しないということだ。なにしろ、我がフランス軍のヴァンツァー部隊は、創設以

来、一度として実戦の場に出たことがないからな」
そう言って上官は、苦々しげに顔をしかめた。
「しかも、我が国の士官学校には、ヴァンツァー戦術を専門に教える課程が、いまだに存在しないときている！　私は以前から、ドイツなりイギリスなり、あるいはU.S.N.(ニューコンチネント)からでもO.C.U.(オシアナ)からでもザーフトラからでもいいから、ヴァンツァー戦術の専門家を招聘(しょうへい)して士官学校で講義をさせろと主張しているのだが、頭の固い馬鹿者どもは、まるで聞く耳を持たん！　こうなったら、優秀な人材を外部へ派遣し、最新のヴァンツァー戦術を身につけさせる以外に、フランス軍を救う道はない！」
「……」
もしかして、その優秀な人材というのが、この私、エルザ・エリアーヌ曹長なんですか、と、上官に訊(たず)ねようかどうしようか、私は少し迷ったが、結局口には出さなかった。軍隊では、言おうか言うまいか迷うようなことは、言わない方がいい場合が圧倒的に多い。特に、相手の階級が自分より上の場合は、たいてい沈黙が正解だ。
そして上官は、あらためて私を見据えて告げた。
「エリアーヌ曹長。君は私の見るところ、フランス軍では指折りの、優秀なヴァンツァーパイロットだ。しかも、考え方に柔軟性があり、単に与えられた課題をこなすだけではなく、創意工夫を加える能力がある。本来なら、士官学校に進んで指揮官としての能力を磨くべき人材だ。

事実、君の直属上司も、君を士官任用候補者の筆頭として推薦している。
しかし、現在、フランス軍の士官学校に進んでも、ヴァンツァー部隊の指揮官になるために学べるものは、まったく何もない！　かえって、ヴァンツァーから縁遠くなってしまうばかりだ」

「……それは、存じませんでした」

士官になりたいとは全然思わないけれど、どこへ行くにしても、ヴァンツァーと縁遠くなるのは嫌だなぁ、と、私はぼんやり考えていた。

もともとエリアーヌ家は、軍人、というか、兵士を多く出している家系ではあるけれど、士官になった者はほとんどいない。曾祖父も祖父も父も、長年下士官を勤めあげて除隊したし、今もフランス軍に所属する兄たちの中には、士官学校に進まないかと上官に何度勧められても、頑として受けずにいる者もいる。要するにエリアーヌ家は、難しいことを考えるのが嫌いで、現場で身体（からだ）を動かすのが好きという、頑固で保守的な田舎者の一族なのだ。

普通、そういう気質なら、農業をするか職人になるかだろうが、なぜかエリアーヌ家では代々、男たちは当然のように軍隊勤めを選んだ。愛国心旺盛（おうせい）といえば、その通りかもしれないが、むしろ、なじみの仕事という感覚が強いような気もする。

五年前に亡くなった私の曾祖父は、百歳を越える長寿を保ったが、予備役や軍属だった時期を含めれば五十年以上フランス軍に所属していたという筋金入りの兵士で、事実か創作（ほら）か判別

秋津　透　Toru Akitsu

1960年2月16日生まれ。東京都出身。早稲田大学文学部卒。88年「魔獣戦士ルナ・ヴァルガー」でデビュー。オリジナリティ溢れた文体を駆使し多数の人気シリーズを持つ。主な著作に「魔獣戦記ネオ・ヴァルガー」（角川スニーカー文庫）「ハルピュイア奮戦記」（ハルキ文庫）「放課後宇宙戦争」「闘鬼風雲録」（ファミ通文庫）などがある。
http://homepage3.nifty.com/akitsushima/

GAME NOVELS
フロントミッション4　I
～エルザ#1～

2004年10月15日　初版第1刷発行

原　作◆PS2ソフト「フロントミッション4」

CHARACTER DESIGN：YUSUKE NAORA

著　者◆秋津　透

発行人◆田口浩司

発行所◆株式会社スクウェア・エニックス
〒151-8544
東京都渋谷区代々木3-22-7
新宿文化クイントビル3階
営　　業 03(5333)0832
書籍編集 03(5333)0879

印刷所◆加藤製版印刷株式会社

乱丁・落丁はお取り替え致します。
定価はカバーに表示してあります。

Printed in Japan
ISBN4-7575-1289-9　C0293

秋津透
イラスト 直良有祐

スクウェア・エニックス

9784757512900

ISBN4-7575-1290-2

C0293 ¥933E

1920293009339

定価：本体933円＋税

SQUARE ENIX.

E.C.（ヨーロッパ共同体）、U.S.N.（ニューコンチネント合衆国）間の緊張が高まる中、
デュランダル、ジード部隊は
ポーランド資源地帯を襲った謎のヴァンツァー部隊を追って
ドイツ南部バッサウ市にあるパイプラインへ。
実戦経験も浅いエルザをさらなる過酷な状況が待ちうける。

GAME NOVELS

フロントミッション4 II

エルザ#2

秋津透

Akitsu Toru

Illustration
Naora Yusuke 直良有祐

SQUARE ENIX

FRONT MISSION 4 エルザ #2

フロントミッション4 II

秋津透

イラスト 直良有祐

スクウェア・エニックス

FRONT MISSION 4

X:02011454-014
Y:01456540-564
Z:..454423-54010

FRONT MISSION PROJECT

GAME NOVELS

フロントミッション4 Ⅱ
エルザ #2

秋津 透 Akitsu Toru

FRONT MISSION 4

Illustration 直良有祐 Naora Yusuke

カバー・口絵イラスト／直良有祐

本文イラスト／木下ともたけ

カバー・表紙・帯・目次・章扉・キャラクター紹介デザイン／松木美紀

CONTENTS

R S

RANDAL

Elsa Eliane

エルザ・エリアーヌ

この物語の主人公。22歳のデュランダル新人女性隊員。以前はE.C.フランス軍ヴァンツァーパイロット。実戦経験はまだない。

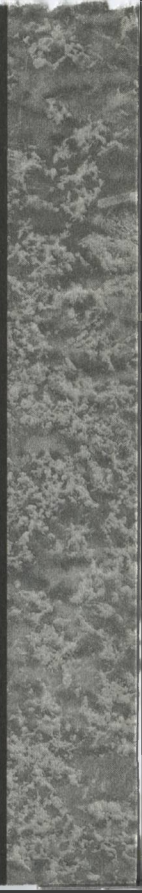
Zead Elger

ジード・エルガー

豊富な経験を持つ元イギリス軍将校のデュランダル実戦部隊隊長。45歳。礼儀正しい性格の頼れる父親的存在。

ハーミーズ・スタージェス

デュランダル情報分析担当者。隊のムードメーカー的存在で、コンピュータを駆使した情報処理能力に優れる。20歳。楽天的な性格。

Hermes Sturges

Latona Rodiona Vasilev

ラトーナ・ロディオーナ・ヴァシレフ

ザーフトラ軍出身のヴァンツァーパイロット。軍隊経験が長く、自分にも他人にも厳しい性格。28歳。

CHARACTE

DU

ディーダー・ボッシュ
戦略立案に長ける、元ドイツ軍将校。ブラウネーベル隊長ヴァグナーとは士官学校時代の同期。あまり行動的ではない、呑気な性格。34歳。

Beck Canova

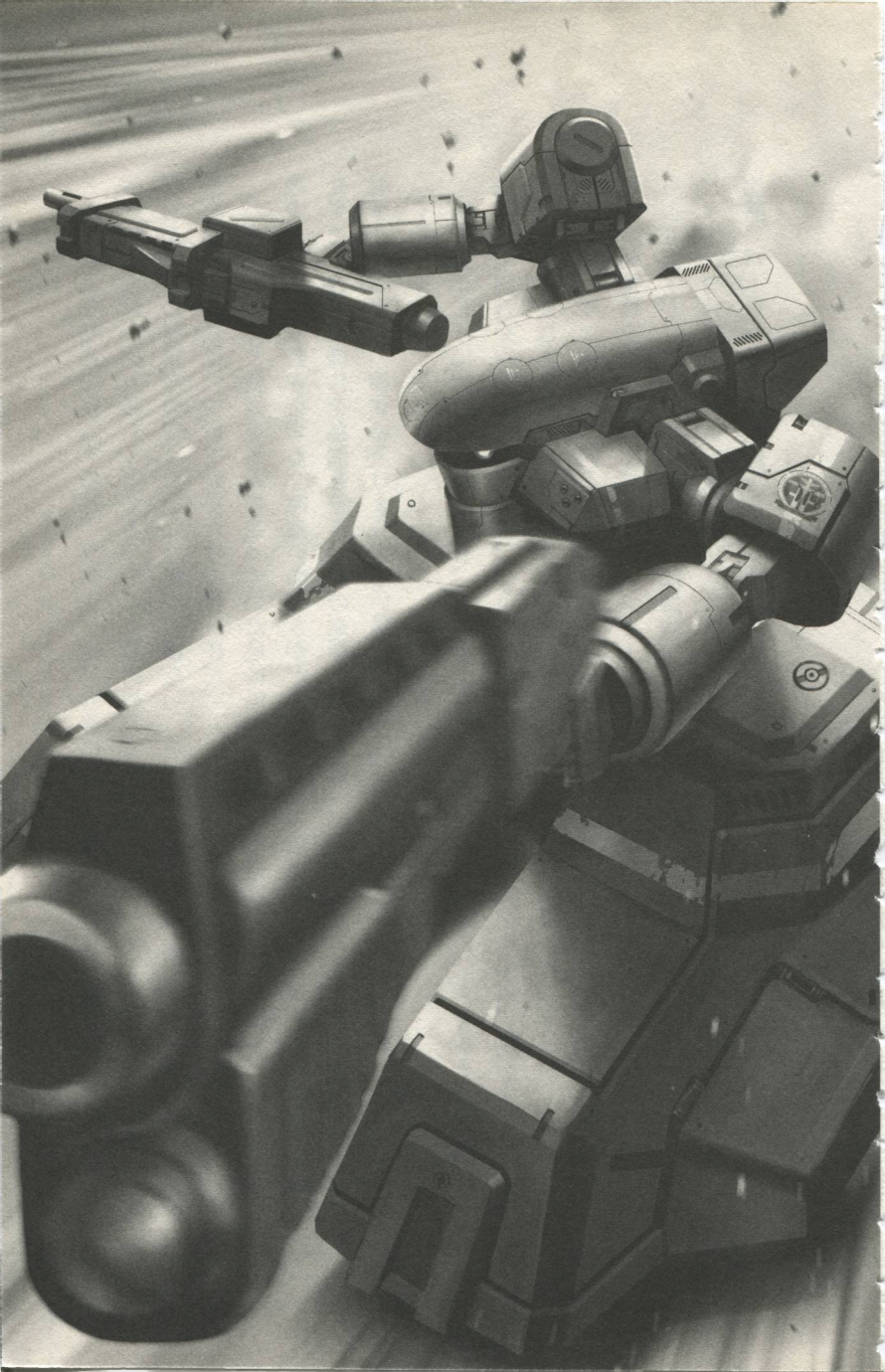
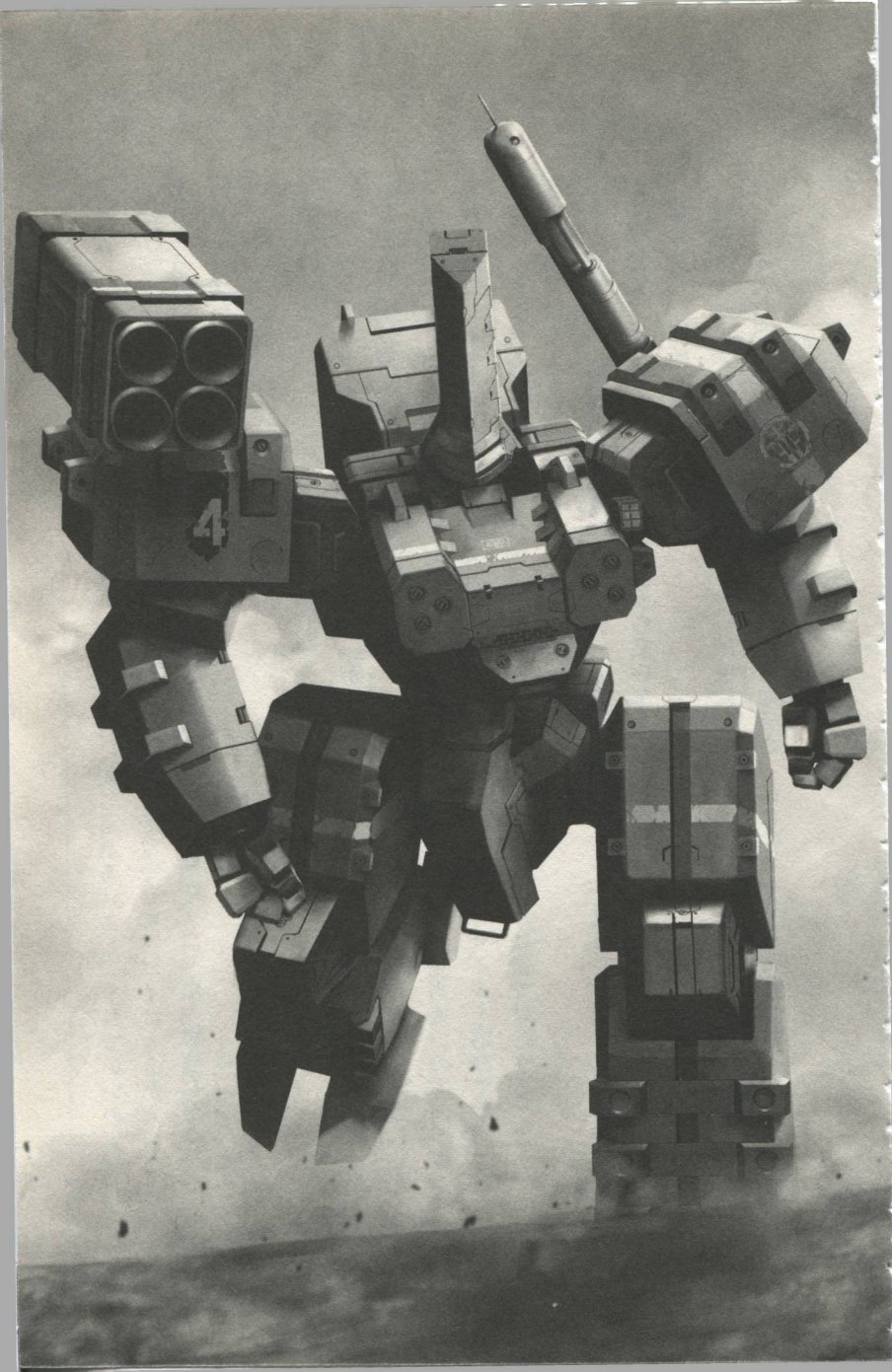
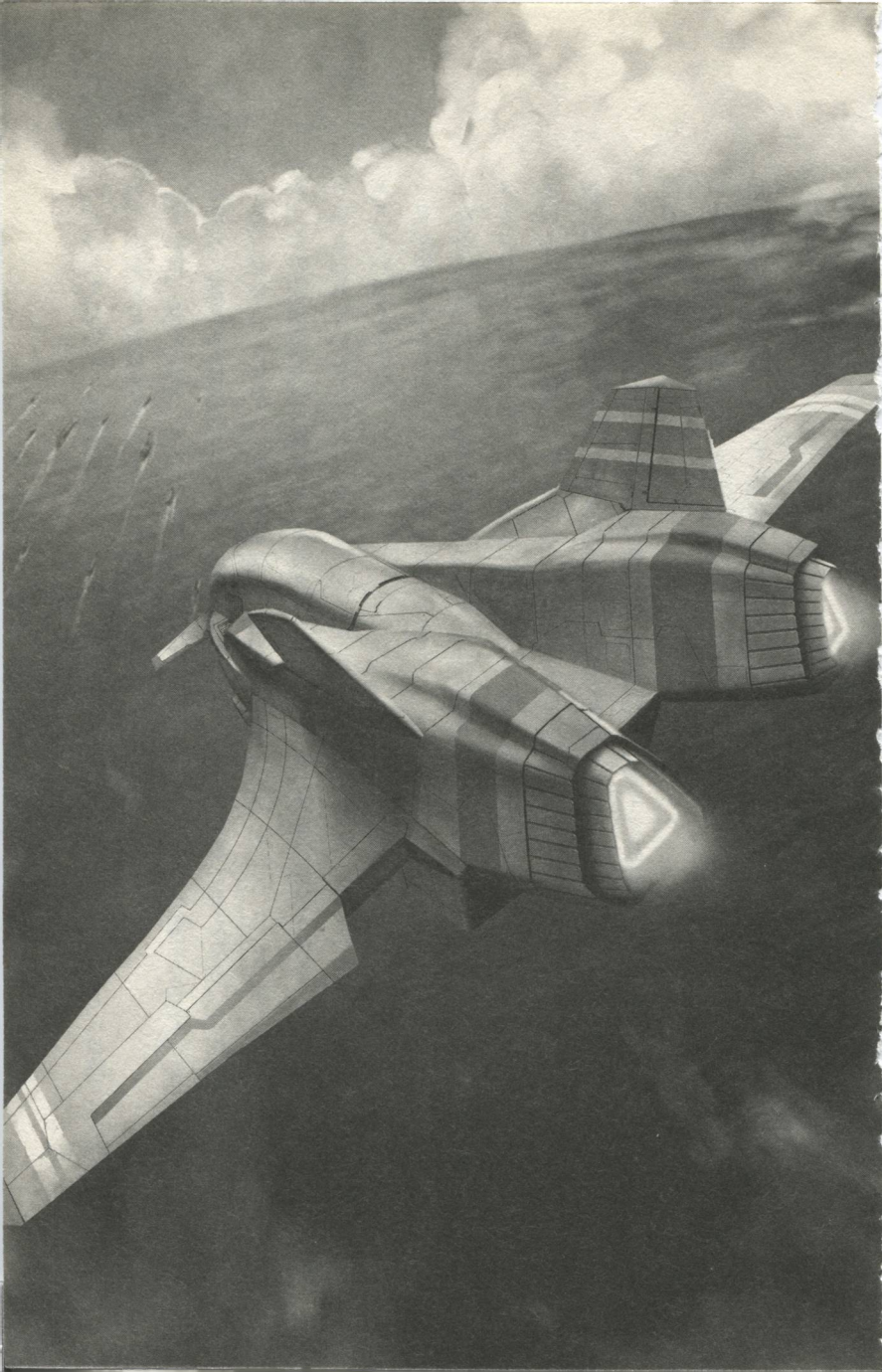
ベック・カノーヴァ
軍隊経験のない、イタリア人の元サッカー選手。規律を守ることを嫌う自由で陽気な性格。

OTHERS

フレデリック・ランカスター
フリーのジャーナリスト。ドイツ軍基地襲撃事件を追っている。第二次ハフマン紛争従軍取材の結果「サカタインダストリィ事件」をスクープした経歴を持つ著名なジャーナリスト。

Rolf Wagner

ロルフ・ヴァグナー
ドイツ軍特殊部隊ブラウネーベル隊長。28歳。冷静沈着な指揮官向きの性格。

ニクラス・グレーザー
ドイツ軍特殊部隊ブラウネーベル司令官。叩き上げの軍人で厳格な性格。

そして、爆発の余波がおさまり、私がおそるおそる顔をあげて周囲を見回した時には、ヴァグナーの姿は、もう、どこにも見当たらなかった。

エピローグ　デュランダル本部

「結局、すべては、この政変で失脚することになったザーフトラの政治家や、軍人、官僚が悪かったということで、決着をつけることになるのかしら？」
ザーフトラ共和国で大規模な政変発生か、という新聞の見出しを見やりながら、私は少し釈然としない口調で呟いた。
「前政権の失策とか、軍部の一部が暴走とか言っても、国としての責任をまぬがれることはできないと思うんだけど」
「そうだね。だけど、E.C.にしろU.S.N.にしろ、ザーフトラが再び暴発するところまで締め上げるわけにもいかないだろう。姑息な陰謀を巡らせなくても、戦力的には強国なんだから」
お茶を飲みながら、ラトーナが応じる。
「ドイツも、選挙で政権交代したとはいっても、落ち着くまでには時間がかかりそうだね」
「ああ、そうだな。
今のところは、ザーフトラのスパイ網摘発に力を入れているようだが、それだけでは根本的な解決にはならない」
複雑な表情で、ボッシュがうなずく。
「ドイツ一国で力を蓄えようとせずに、E.C.全体の防衛力を底上げする方向で考えないと、い

つまでたっても警戒されるばかりだと思うんだが、なかなかなぁ」
「国と国が協力体制を維持していくのは、大変な難事だよ」
そう言って、ラトーナは肩をすくめた。
「まして、E.C.みたいな大所帯になるとね」
「でも、どんなに困難でも、国家同士が対等な関係で協力していくのが、E.C.という体制の持ち味だと思う。強力な中枢があって、それ以外の部分は中枢の意向に引っ張られるというだけなら、U.S.N.やザーフトラと変わらないもの」
いまだに生死すら判明していないヴァグナーと、戦場で交わした問答を思い出しながら、私は呟いた。
「このデュランダルだって、全然立場のちがう人間が、それぞれの個性を生かしながら協力して成果をあげてるわけじゃない。人と人との間でできることが、国と国との間でできないとは思えないわ」
「ああ、その通りだな」
そう言って、ボッシュが小さく笑った。
「我らデュランダルこそが、E.C.が目指すべきモデルケース、というわけだ」
「っていうか、私やハーミーズも加わってるんだから、E.C.に限る必要はないだろう?」
ラトーナも笑顔になって、私たちを見回す。

「U.S.N.(ニューコンチネント)やザーフトラも含めて、世界が対等な関係で協力し合えれば、たぶん、今よりずっと住みやすい場所になる。この居心地のいい、デュランダル休憩室(コモンルーム)のようにね」
「と、なると、やっぱりO.C.U.(オシアナ)出身のメンバーが欲しいところだな」
ボッシュが呟くと、そこへベックが入ってきた。
「やあ、みんなこっちにいたのか！　ニュースだ、ニュース！　新メンバー、アロー7の加入が決まったぜ！」
賑(にぎ)やかに言い立てるベックに、ラトーナが訊(たず)ねる。
「そいつは、O.C.U.(オシアナ)出身かい？」
「ああ、そうだが。何だ、知ってたのか？」
きょとんとして訊ね返すベックに、ラトーナは笑って答えた。
「そういうわけじゃないが、新メンバーが入るなら、O.C.U.(オシアナ)出身だろうって話をしていたからさ」
「ああ、そうか。しかし、こいつは即戦力になりそうだぜ。O.C.U.(オシアナ)オーストラリア出身で、傭(よう)兵(へい)としてハフマン紛争にも参加した経験(こと)があるそうだ」
たぶん、聞き込んだばかりなのだろう。ベックは、嬉々(きき)として情報を披露する。
そしてラトーナは、笑みを少し獰猛(どうもう)な感じに変えてうなずいた。
「そうか。じゃあ、手の空いてるメンバー総出で出迎えないとね。二対一ぐらいじゃ、返り討

ちにされちまうかもしれない」

「まあ、模擬戦の勝ち負けはどうでもいいが、O.C.U.(オシアナ)傭兵出身となると、独特の戦術を持っているかもしれないな。俺(おれ)も、ちょっと興味が出てきたぞ」

ボッシュも、いかにも楽しげに発言する。そこで私は、わざとらしく溜息(ためいき)をついて肩をすくめた。

「赴任早々、新メンバーに模擬戦を挑むなら、ちゃんとジードに話を通しておかなくちゃ。私、懲罰で仮設トイレの掃除をさせられるのだけは、絶対に嫌よ」

「ああっ！　それは、俺も完全に同意だ！　模擬戦するなら、懲罰くらうような突発じゃなしに、ちゃんと根回ししてからにしよう！　そうしよう！」

以前の苦い経験を思い出したのか、ベックが大仰に叫ぶ。

そしてラトーナが、苦笑まじりに告げる。

「私が模擬戦を申し出たら、新入りいじめと思われて、ジードに却下されるかもしれない。エルザ、あんたが話を通しておいてくれないか？」

「ええ、いいわよ」

うなずいて、私は席を立ち、中央管制室(ブリーフィングルーム)に向かった。

新しい仲間になるのは、どんな人だろう、と期待しながら。

FIN

秋津　透　Toru Akitsu

1960年2月16日生まれ。東京都出身。早稲田大学文学部卒。88年「魔獣戦士ルナ・ヴァルガー」でデビュー。オリジナリティ溢れた文体を駆使し多数の人気シリーズを持つ。主な著作に「魔獣戦記ネオ・ヴァルガー」（角川スニーカー文庫）「ハルピュイア奮戦記」（ハルキ文庫）「放課後宇宙戦争」「闘鬼風雲録」（ファミ通文庫）などがある。
http://homepage3.nifty.com/akitsushima/

GAME NOVELS
フロントミッション4　II
～エルザ#2～

2004年10月15日　初版第1刷発行

原　作◆PS2ソフト「フロントミッション4」
©2003 SQUARE ENIX CO.,LTD. All Rights Reserved.
CHARACTER DESIGN：YUSUKE NAORA

著　者◆秋津　透

発行人◆田口浩司

発行所◆株式会社スクウェア・エニックス
〒151-8544
東京都渋谷区代々木3-22-7
新宿文化クイントビル3階
営　　業 03(5333)0832
書籍編集 03(5333)0879

印刷所◆加藤製版印刷株式会社

乱丁・落丁はお取り替え致します。
定価はカバーに表示してあります。

ISBN4-7575-1290-2　C0293

GAME NOVELS
フロントミッション4 I
エルザ #1

2096年
エルザ・エリアーヌ入隊
デュランダル作戦開始(ミッションスタート)!!

秋津透

Akitsu Toru

Illustration
Naora Yusuke 直良有祐

SQUARE ENIX

スクウェア・エニックス